14. その他

- 1) 出場競技者には、チームユニフォームを支給する。
- 2) 両連合承認の競技者については、オープン参加することができる。
- 3) ドーピングコントロールテストは日本アンチ・ドーピング機構および日本陸上競技連盟の規則に従い実施する。ドーピングコントロールテストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受けなければならない。
詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会 HP (<http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html>)、又は日本アンチ・ドーピング機構 HP (<http://www.playtruejapan.org/>)、および日本学生陸上競技連合 HP (<http://www.iuau.jp/index.html/>) 内の「知っておきたいアンチ・ドーピングの知識 2015年版」を参照すること。
- 4) 2015年1月1日より、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、そして日本アンチ・ドーピング規程が改定され、未成年者（20歳未満）の選手が競技会に参加する際、「未成年者同意書」（親権者による署名が必須）を持参しなければならない。本大会に参加する未成年者は、日本学生陸上競技連合 HP (<http://www.iuau.jp/index.html/>) に掲載の未成年者同意書を熟読し、署名、捺印の上、競技会に必ず持参すること。未成年競技者はドーピング検査に指名されたときに、同意書の原本をドーピング検査室にて NFR（大会医事代表）に提出すること。提出は未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、既に原本を提出済みであることを NFR に申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。
- 5) 当日競技会に出場しなかった者は、旅費・宿泊等は自己負担とする。
（不慮の事故等の場合を除く）
- 6) 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側において行うが、それ以後の責任は負わない。
原則として学生、実業団ともに保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- 7) 参加者は、健康保険証（コピー可）を持参のこと。
- 8) 大会前日の13:00～17:00、大会当日の10:00以降は、競技場を利用しての練習を可能とする。（ただし投てきを除く）